

# 温故知新

## 日野歴史探訪

私たちの住む日野町には、52の大字があり、それぞれの地域が豊かな自然と歴史文化で彩られています。温故知新では、町内各大字の歴史と代表的な文化財をシリーズで紹介していきます。

## 大字北畑

## 八幡神社の文化財

日野町の東端に位置する大字北畑は、北は奥師・西明寺、南は熊野・蔵王と接し、町内最高峰である綿向山を含む、東西に大きく伸びる地域です。綿向山の山頂には大高神社があり、綿向山信仰の中心として広く崇敬を集めています。

北畑の集落北西に位置する八幡神社には、町指定を含む複数の文化財が伝わっています。

北畑の地名の由来は、かつて馬見岡綿向神社(村井)の氏子園であった熊野・蔵王・北畑が三畑と称され、三畑のうち北側に位置することが由来とされています。また「日本書紀」において、のちの雄略天皇である大泊瀬皇子が、兄の市辺押磐皇子を討った「采田綿の蚊帳野」が当地であると言われ、この「采田綿」が変化したとされる説もあります。

当字の鎮守である八幡神社のほか、山岳信仰と関わりのある佐久奈度神社、国の天然記念物に指定されている「綿向山麓の接触変質地帯」など、綿向山の豊かな自然に抱かれた、歴史を伝える重要な地です。

昭和37(1962)年に町指定文化財となった石造宝篋印塔は、総高148.5センチメートルで、切石の基壇上に建てられており、笠の一部に欠損があるものの、相輪まで完存する立派な宝篋印塔です。この塔には銘文が刻まれており、正安元(1299)年のものであることがわかっています。数多く石塔が伝わる町内でも、最古の石塔の一つとして数えられます。

また、注目すべき点として「村人敬白」と刻まれていることが挙げられます。村民の願いから造立されたことを示すこの銘文によって、鎌倉時代には北畑の集落の原形が成立していたと考えられ、村民のあつい信仰と、地域の結束力をつかがい知ることができます。



(八幡神社石造宝篋印塔)

また、八幡神社には八幡神の本地仏である阿弥陀如来像が伝わっています。かつて神と仏は一体であるという神仏習合の考えによって、多くの仏像が神社でまつられていましたが、明治時代の神仏分離令によって廃仏毀釈が進むと、神社の中から仏教色が失われていきました。そのような中で、八幡神社では阿弥陀如来をそのまま神像として残しており、今に神仏習合の名残を伝え続けています。

## 綿向山麓の接触変質地帯

綿向山の麓には、変質岩と呼ばれる岩石が露出した場所があり、この一帯が「綿向山麓の接触変質地帯」と呼ばれています。

ここで見ることでできる変質岩とは、白亜紀(1億4500〜6600万年前)に、石灰岩と粘板岩にマグマが接触した際に熱エネルギーによって性質が変化した岩石です。大理石や珪灰石・ザクロ石などの接触鉱物が作られました。こうした変成による典型的な接触鉱物が確認でき、地質学的に貴重であることから、昭和17(1942)年に国の天然記念物に指定されました。



(綿向山麓の接触変質地帯)

### ◆問い合わせ先

近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」

☎0748-5210008

# 住みよいまちづくりへの提案

## アイデア・メッセージをお待ちしています



あなたのアイデア・  
メッセージを  
お待ちしております

皆さんからのアイデアやメッセージをいただき、まちづくりにいかし誰もが住みやすいまちにしているため、皆さんの「声」をお待ちしています。

- 「住みよいまちづくりへの提案」をお寄せいただくための封書を下部に掲載しています。
- こちらに掲載している封書に限らず、電話・ハガキ・FAX・E-mailなどで受け付けていますので、ご意見をお寄せください。

### ◆提案・問い合わせ先

企画振興課 秘書広報担当

☎0748-52-6550 FAX 0748-52-2043

E-mail kouhou@town.shiga-hino.lg.jp

### 【お願い】

- 提案に対する回答を郵送させていただきますので、氏名・住所(番地まで)を必ずお書きください。名前や番地の記載がない場合などは、匿名扱いとなり、お返事できませんので、ご了承ください。
- 広報掲載の封書以外で提出いただく場合は、タイトルに「住みよいまちづくりへの提案」と記載してください。
- 寄せられた提案は、町長はじめ担当課職員が熟読させていただきます。できる限り町政にいかせるよう、十分に検討したうえで回答させていただきますので、回答までに時間がかかることがあります。
- 特定の個人や団体の誹謗、中傷するものなど、内容によっては回答できないものがあります。
- お寄せいただいた提案は、「広報ひの」に掲載させていただきます。その際に氏名の掲載はいたしません。
- 担当課ですぐにお答えできるような質問については、電話でお答えする場合があります。

きりとり



時代の変化に対応し  
だれもが輝き  
ともに創るまち“日野”

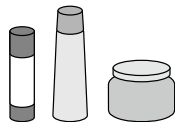
郵送の場合はこの用紙を切り離し、  
次の通り封書を作ってください。

- ①きりとり線（点線）に沿って切り、中央を山折りにします。



(山折り)

- ②のりしろにのりをつけて貼りあわせ、封書を作ります。



- ③切手を貼らずにそのままポストへ投函してください。



きりとり



料金受取人払郵便



差出有効期限  
令和6年3月  
31日まで  
(切手を貼らずに  
お出ください)

5 2 9 1 6 9 0

日野町役場

日野町河原一丁目1番地

「住みよいまちづくりへの提案」係行